

経営のヒント206 幸せになる為に結婚するなら、考え直さない…

「すぐに結婚して下さい。僕は本気です」

旅行先で知り合い、交際を始めて1年後。

ある女性がプロポーズをされました。

彼女も彼のことが大好きだったので、その気持ちはとても嬉しかったのですが、結婚を真剣に考えたことはありませんでした。

「私は本当にこの人と結婚してもいいの？」

心配になって友人に相談すると

「彼はお金がなくて、いつもあなたがお金を払っていると聞いていたけど、彼の仕事は大丈夫なの？」

結婚は恋愛と違って、気持ちだけでは成り立たないわよ。

経済的なことも真剣に考えて決めないと…」

と言われてしまいました。

友人の言葉通り、彼はアルバイトで暮らしているような状況で、結婚後にお金で苦労することは明らかでした。しかし、大好きな彼からのプロポーズに対して、お金を理由に断ることもできません。

悩んだ彼女は実家に帰ると、彼との結婚について、お母さんに相談をしました。

「実は1年前から付き合っている人がいて、プロポーズされたの。彼のことは大好きだけど、仕事が見つからなくて、アルバイトで暮らしているの。やる気が無いわけではなくて…」

と必死に説明しました。最後には、

「でも私、どうしたらいいかわからない」

と叫んで、両手で顔を覆って泣き出してしまいました。

口を出さずに黙って話を聞いていたお母さんは、娘の頬に両手を当ててゆっくりと顔を起こすと

「あなたが幸せになるために結婚するのなら、考え直さない…。」

でも、この人となら一緒に苦労しても良いと思えるのなら、絶対に彼と一緒にいなさい」

と、娘の顔をしっかりと見つめながら話しました。

その後、彼女は楽しそうに結婚の準備を始めました。

人生の目的に気づく「24の物語」中山和義著 フォレス出版

<経営のヒント>

苦労することがあるから、喜びを感じる事ができる。

幸せは与えられるものではなく、自分で作り出すものです。

幸せが約束されている人生を見つけ出すことは、誰にもできません。

この逸話は、釣りバカ日記のはまちゃんが、プロポーズした言葉を思い出します。

「僕は君を幸せに出きるかどうか分かりません。でも君と結婚出来たら、僕はきっと幸せになれる」